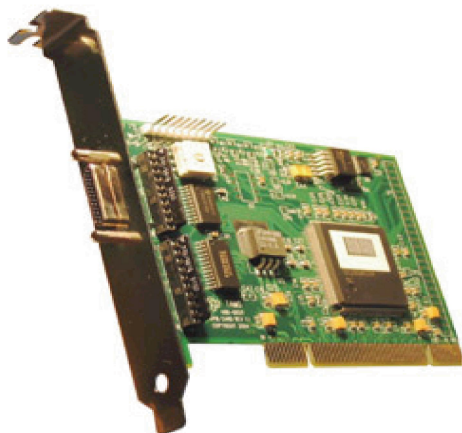




TAMS 61488/81488は、新しい標準IEEE488.2のパフォーマンスを引き出します。TAMS 94488は、Windows版・RHEL (RedHat Enterprise Linux) の統合型番です。

I/Oパフォーマンスは、機器をコントロール上必須のものです。コンピュータは、他のことをすることなく機器とのやり取りを常に待っています。x1488は機器が必要とするあらゆるスピードに対応できます。

ハードウェアに対し、ソフトウェアの機能を動かし、細かいトランザクションの効率の改善に全力を注ぐ事によって、本当の意味での効率の改善を行っています。

GPIBのパフォーマンスの特性を示すために、一桁の数字を使用したり、またいろいろなタイプのI/O操作を頻繁に行うと誤動作させることができます。これにはいろいろな要素がかかわっています。転送されていたデータ数/データブロックの長さ/Read_Writeスピードの違い/プログラミング言語の違い/コンピュータの使用状況等があります。

結論として全てを最大転送速度ベースで考えることはお勧めしません。とは言え、業界標準の最大転送速度にあわせ、x1488は1MB/sを超えることができる仕様になっています。TAMS社のテストでは、小さいトランザクションの扱いで、x1488はx0488に比べ4.5倍という結果でした。

TAMS 61488/81488は、3.3Vと5VのPCIスロットに対するPCI標準に完全に準拠しています。そして可能最大限のレベルの処理量を提供します。33, 66, 100および133MHzで32bit/64bitとも使用できます。

HTBasic for Windowsでも、CでもSICL/VISAライブラリを使用して最大の効率でプログラムは実行されます。

システム構成：

[61488]

システム最小構成：

Windows XP sp3、VISA、7または8 (32bit/64bit*) 注) 64bit*対応は2013.04より
 空きPCIスロットx1とAgilent IO Libraries M.01.00以降 (VISTAサポートは15.0以降)

サポートされる標準：

PCI, IEEE-488.1とIEEE-488.2, SICL, VISA

サポートされる開発環境：

Visual C/C++, Visual Studio, HTBasic

[81488]

システム最小構成：

Red Hat Enterprise Linux

注) サポート可能のカーネルの確認が必要

サポートされる標準：

PCI, IEEE-488.1とIEEE-488.2, SICL, VISA

サポートされる開発環境：

BASIC for Linux, C/C++

仕様：

コネクタ：標準24-pin IEEE-488

サイズ：12.1 cm x 7.6 cm x 1.6 cm

重さ：125 grams (梱包重量：455 grams)

ケーブル：

製品番号：TAMS 488-001D (標準、2m)

TAMS 488-004 (オプション、4m)

TAMS 488-006 (オプション、6m)

形状：片側の終端はIEEE488 24pinコネクタ、もう一方はTAMS 高密度専用コネクタ

保証： 1 年

動作環境：

温度・作動時：0度Cから+40度C

保存時：-20度C から +60度C

湿度・作動時：20-80% (0度Cから +40度C)

保存時：20-80% (0度Cから +55度C)